

# 世の光

日本同盟基督教団

しっかりと組み合わせられ、愛のうちに建てられるのです。  
エペソ4章16節

# 9月

第864号  
2022年9月1日



ヴァルゼン礼拝後の交わり



キングスキッズ



ヴァルゼン礼拝



日本語学校



ヴァルゼン書道

ブラジル 浜田 献宣教師からの写真

## P.2 教会ルポ

安中聖書教会  
加賀中央キリスト教会

## P.3 理事の声

教師試験委員長 水草修治



## P.4-5 国内宣教

宣教的ディフェンス面の上でレジリエンスを身につける 後藤哲哉  
教団の祈りの実 入江喜久雄

## P.6-7 国内宣教

東北宣教プロジェクトニュース 西村敬憲  
キャラバン伝道2022始動! 篠原哲二

## P.8-9 国外宣教

ネパール 医療宣教を振り返って  
元教団派遣宣教師 (医療宣教) 吉持厳信  
ブラジル 教団派遣宣教師 浜田 献・陽子

## P.10-11 国外宣教

タイ 教団派遣宣教師 河野 晃・美千代  
韓国の教会とこれからの世界宣教について  
趙 鏞吉

## P.12 「教会と国家」委員会

ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い(第2回)の報告

## P.13

青年部 あつまれDSともキャンのお知らせ  
教会教育部 子ども会用カリキュラムのお知らせ

## P.14-15 家庭教育部

クリスチャンホームビジョン  
教職者セミナー報告 廣岡拓朗  
教会支援部 星沢数也 (中津聖書教会)

## P.16 救いの証し

小川有三 (豊橋ホサナキリスト教会)

## P.17 教団ニュース

教会教育部  
あつまれ! ディーキッズ! D-kids

## P.18

献身の証し 吉村俊輔 (近江聖書教会)  
浜名湖バイブルキャンプ

## 教会ルポ

### 主を信じて従う教会として

安中聖書教会(関東宣教区・群馬県安中市)

牧師 三浦 陽子

青い空、白い雲、美しい山々、夜は月の光と星の輝き。いつも安中聖書教会と共にある光景です。鳥がさえずり、カエルが大きな声でなき、時に雷鳴が轟きまします。雷では有名な地なので、それよりも有名なことは、温泉記号発祥の地「磯部温泉」かもしれません。すぐそばに安中聖書教会があります。住所は安中市磯部です。

当時、十数人の教会員でした。しかし、主はみごとに土地も建物も隣接地をもお与えくださいました。この安中で宣教していくことが神のみこころだったからです。何より案じた会堂返済の心配も、今はありません。

先の主の日、現会堂の15周年の記念礼拝を主に献げました。新会堂を献堂してから毎年、献堂式を行った「海の日」の最も近い主の日に記念の時をもっていません。写真で建築の様子や献堂式の様子を見、神さまへの感謝を会堂献金で表し、

安中聖書教会は、キリストのご支配が満ちる本当の教会を求めています。人間的な知恵や思いをしりぞけ、主の幻を求め、みことばの約束を信じて従うところではしか経験できない主の真実を経験しています。これからも、ただただ主のみことばに聴き、主にお従いし続ける兄弟姉妹と共に礼拝を献げ、祈りつつ、神の栄光のために存在する喜びに与かっていきたいと思

祈禱文を用いて一同で再献身の祈りをいたします。もう15年もたったと言う思いもありますが、それでも主が新しいことをしてくださった、いや新しいことをし続けてくださる主の御手の中にある教会であることを確認し、何のためにこの会堂が与えられたのか、主が宣教のために奇跡をなしてくださったことを記念し喜んでいきます。

に与かっていきたいと思

喜んでいきます。



礼拝の様子

### 加賀中央キリスト教会の歩み

#### 開拓伝道から69年間を振り返って

加賀中央キリスト教会(北陸飛騨宣教区・石川県加賀市)

牧師 大橋 留蔵

私たちの加賀中央キリスト教会は、1953年10月にダビデ・マーチン宣教師によって開拓された教会です。今から69年前のことです。その後4人の協力宣教師の支援を受けて、1956年に日本人最初の牧師として奥深山信義牧師が着任されました。現在、5代目までバトンタッチがなされて来ました。

#### 【当教会の特色】

- ① 聖書をユダヤ視点で読み解く
- ② 聖書をメシア視点で読み解く
- ③ 聖書を再臨終末視点で読み解く

#### 【当教会の活動】

- ① 月1回のセル家族
- ② 年4回の特別伝道集会
- ③ 年3回のユダヤ視点で学ぶ聖書塾(超教派)
- ④ 年3回の北陸再臨終末論フォーラム(超教派)



教会員とともに

私たちの教会に託された宣教を「携挙」されるその日まで、聖霊のお働きの中で忠実に果して参りたいと願っております。

- #### 【当教会のビジョン】
- ① 近い将来 新会堂建設用地
  - ② 近い将来 新会堂建設着工
  - ③ 救霊の実 各年代にバランス良く
  - ④ 来年から字義通りの黙示録礼拝メッセージ

理事の声



みずくさしゅうじ  
水草修治

負債を返そう

「全世界に出て行き、すべて  
の造られた者に福音を宣べ伝え  
なさい。」(マルコ16章15節)

返すべき負債

主イエスは復活後、弟子たち  
に「大宣教命令」を下しました。  
マルコ福音書、ルカ福音書、使  
徒の働きに記された命令の要点  
は「すべての人に福音を伝えよ」  
であり、マタイ福音書に記され  
た命令の要点は「主の弟子とせ  
よ」つまり教会形成です。

筆者が駆け出しの頃、共に労  
したモーリス・ジェイコブセン  
宣教師は、「戦後來日した私た  
ちはすべての人に福音を伝える  
ことに励みましたが、教会形成  
を知りませんでした」と残念そ  
うに述べられました。ですが今  
日、私たちは教会形成を意識す  
る反面、「すべての人に福音を  
宣べ伝えよ」という命令に十分  
応えているでしょうか。

パウロは「私は、ギリシヤ人

にも未開人にも、知識のある人  
にも知識のない人にも、返さな  
ければならない負債を負ってい  
ます。ですから、私としては、  
ローマにいるあなたがたにも、  
ぜひ福音を伝えたいのです。」  
(ローマ1章14、15節 新改訳  
第三版) と言いました。

福音と足

ところで、聖書において「福  
音」という言葉は、体のどの  
器官と関係があるとされている  
でしょう。口でしょうか？舌で  
でしょうか？「なんと美しいこと  
か、良い知らせを伝える人たち  
の足は」(ローマ10章15節)「足  
には平和の福音の備えをはきな  
さい。」(エペソ6章15節)とあ  
るように、福音は足に関係して  
います。つまり、シンプルに言  
えば、福音は会堂の外で未信者  
に向かって伝えるものだという  
ことです。

筆者が仕える苦小牧福音教会  
はここ6年間、近隣地域に毎月  
1万部、新聞スタイルのトラク  
ト「苦小牧通信」を自前で刷っ  
て新聞折込にして来ました。け  
れども苦小牧市は全部で9万戸  
で、今は新聞を取っている家

が非常に少ないのです。ネット  
ニュースで十分だという人が増  
えたことと、毎月4、5千円の  
新聞代が無理な家が多いので  
しょう。でも、そのお陰で、朝  
空っぽのポストが多く、「通信」  
を入れやすくなっています。そ  
こで、昨年4月から雨でないか  
ぎり毎朝食前、ヨハネ3章16節  
の解説文の「通信」を1時間ほ  
どかけて配るようになりまし  
た。厳冬期はお休みして今年も  
4月から再開しました。

ホームページやブログやユー  
チューブも使いますが、それだ  
けでは地域に浸透できません。  
幸い日本は識字率が高いので、  
文書で福音を伝えられます。読  
む、読まないは、聖霊とご本人  
の意思次第ですが、福音を伝え  
ることは私たちが「返さなけれ  
ばならない負債」です。

昨年度は1人で配ってしまし  
たが、この春からは「私も配り  
たい」という兄弟が2、3人現  
れたので、地域を分担したり、  
たまにはお昼と一緒に配るこの  
ときは楽しいものです。ある姉  
妹に言わせると、「福音通信を  
配ることは精神衛生上よい」と

のこと。借金を返し終わったと  
きの、あの気分なのでしよう。  
効果

この働きについて紹介する  
と、たいてい「効果はあります  
か？」と質問があります。「効果」  
は絶大です。「すべての人に福  
音を宣べ伝えよ」というのが主  
の命令ですから、福音を伝えな  
ければ失敗ですが、伝えれば成  
功だからです。

でも「効果はありますか？」  
という質問の意図は「通信を  
配って人は来ますか？」という  
ことでしょう。この働きをして  
いると、直接に「通信」つな  
がりでなくても、不思議に主を求  
める人々が教会に増えて、クリ  
スマスとペンテコステには受洗  
者も与えられました。主のご命  
令に正直に答えようと励んでい  
ると、主が神の家族となる人々  
をプレゼントしてくれるのかも  
しれません。

それに足で福音を運ぶと、運  
動不足解消、朝ご飯が美味しい、  
町の穴場発見というおまけも付  
いてきます。

(苦小牧福音教会牧師)

No.222  
国内宣教

回復後は跳ね返って、落ち込む前より成長している…  
そういった意味での「レジリエンス」

## 「宣教的ディフェンス面の上で レジリエンスを身につける」 宣教研究部 部長 後藤 哲哉ごとう てつや

近年、宣教研究部が取り扱ったテーマは、「教会の自立へのヒント（青い冊子）」、「次世代を担う教職者の育成への提言（赤い冊子）」です。

宣教をオフエンシブ（攻撃的）な面とディフェンシブ（守備的）な面の二面性に分けられるとしたら、青い冊子と赤い冊子はオフエンシブなテーマと言えます。また、前期からの理事会の研究テーマである「受洗者数の減少」についても忘れてはならず、いずれ取り扱っていきたい宣教の積極面です。

今期、理事会から付託されたテーマは、牧会者の倫理について、整備し文言化することです。これは牧会者を守るという意味でディフェンシブなテーマと言えるでしょう。

研究テーマとしては、オフ

ンシブなほうが正直やりがいを感じますが、今日様々な事象により牧会者の境界線はどこまでなのか。また、牧会者は様々な分野の助けを求められてしまいがちで、それを断れない時に生ずる問題があります。どう扱えばいいのかわからず、牧会者当人が疲れ果ててしまうこともあるでしょう。ですから、防御の面において、このテーマは大事であります。このことを整えた文章を皆さまへ届けられたらと願っています。

宣教とは困難な状況を打破して前に向かって進み続けるという積極面と同時に、宣教に携わる者の心と身体の休息が確保され、守られなければならないという両輪が必要です。

私はその牧会者が守られるた

めの一つの大きな要素は「レジリエンス」だと思います。レジリエンスという言葉は、本来「跳ね返り」とか「弾力」という意味で、どれだけその人に弾力性があつて、大変なことが起きても元に戻ろうとする力があるか、「回復力」という意味合いで使われています。

クリスチャンであつても牧師であつても辛いことが起きて、落ち込むことが当然あります。しかしキリストにあつて、いかに速やかに回復し、ただ回復するだけではなく、回復後は跳ね返って、落ち込む前より成長していることを目指していきたい、そういった意味での「レジリエンス」は、宣教に携わっている者が守られていく上でとても

も必要な身につけるべき要素です。これもディフェンス面です。

聖書的なレジリエンスの一つとして、「理解できずとも神の御手の中にあると信じる」ことです。ネガティブな出来事の理由がわかればいいのですが、すぐに答えは出ません。それでも、いつかイエスさまが答え（＝意味）をくださると信じて宣教を継続させることが牧会者に必要なメンタリティーと言えます。「わたしがしていることは、今は分からなくても、後で分かるようになります。」

（ヨハネ13章7節）  
（クロスロードチャーチ岡山牧師）



# イエス・キリストにある神の愛から 私たちを引き離すことはできません

## 「教団の祈りの実」

いりえ 喜久雄



教会玄関口

皆様の日々の祈りとご支援を感謝し、4月から7月までの恵みを皆様へ報告いたします。感謝は主に開所式と歓迎礼拝です。まず、6月27日の開所式は、理事長、伝道局長、伝道部長、九州宣教区と教団諸教会の先生方と信徒の方々、九州の他教団のリーダー的な方々、合計45名が出席されました。出席された方々との久しぶりの交わりは、コロナ禍で会えなかった約3年間を忘れさせる恵みに満ちた祝福の時となりました。理事長の説教のローマ15章19節後半「こうして、私はエルサレムから始

めて、イルリコに至るまでを巡り、キリストの福音をくまなく伝えました」が心に残りました。



歓迎礼拝の様子

次の感謝は、4回にわたる歓迎礼拝の準備と実施でした。6月5日の出発礼拝までに会堂整備、電話とネット、講壇、椅子設置などを行いました。また佐賀大学医学部室内楽部の方々との出会いによって、素晴らしい特別演奏が与えられた6月26日の歓迎礼拝には、部員11名と地域の方々7名の合計18名が新来者として出席し、大変祝福されました。理事長の説教「主

イエス・キリストにある神の愛から私たちを引き離すことはできません」(ローマ8章39節b)は大きな喜びを会衆にもたらししました。さらに、歓迎礼拝を7月3日、10日、17日に行い、現在1名の壮年が聖書入門クラスに入りました。宣教の主の御名をほめたたえます。  
(佐賀バイブルチャーチ牧師)



開所式記念撮影

## 佐賀宣教報告ショートムービーのご案内

皆様のお祈りと献金に支えられ、主は佐賀バイブルチャーチの宣教をスタートさせてくださいました。感謝のご報告と、お祈りの要請を兼ねて、ショートムービー(11分)を作成しました。ぜひ、礼拝や祈り会などで上映くださり、これからもお祈りくださいますようお願い申し上げます。



こちらのQRコードから➤

※ 教団HPのトップページからもお覧いただけます(9月末まで)

伝道局 伝道部

# 東北宣教プロジェクトニュース

## 「距離の隔たりを超えて」

西村 敬憲

岡山は福島から1000キロ離れています。震災の日もわずかな揺れが観測されたようですが、ほとんど感じた人はいなかったようです。私がチャーチスクールの生徒の書類を小学校に届けに行くとき職員室で先生方がテレビの前に集まっています。肩越しに見たものは、津波が町を呑み込む光景でした。

福島との県境に住んでいた両親は無事でしたが、眼下の漁港一带は津波の直撃を受けました。それでも、駆け付けずすもなく、やっと8月に訪ねた時に、増井恵先生に被災地を一日かけて案内していただきました。家々の土台だけが残る荒涼とした海岸沿いの町や校庭いっぱい瓦礫の山に呆然としました。

そのころには、宣教会の委員会も再開され、東京の往復も始まりました。駅もビルの中も薄暗い中で過ごし岡山に帰ると、東京の重苦しい緊迫感が見当たらない、違和感を抱え続け

ました。

それは、この距離の大きさも横たわっていたからです。それでも教会からは数名の方がボランティアに参加し、また休学して岩手で活動をする学生もありました。帰ってきてから教会学校でも話してもらおうと、子どもたちにも伝わるものがあつたようです。距離の大きさは、教会のもつ交わりがそれを超えてつないでいると思いました。

それから7年後の西日本豪雨の時には、冠水で遮断された道避けながらやっとのこと空港にたどり着き、青年部のイベントにお茶の水へ向かいました。東京に着いてから、変わりました。東京に映像を見ました。果てた岡山の映像を見ました。現地と連絡を取り緊張を抱えながら、依頼教会に向かいました。この緊張感を伝えようとしても、どうしてもどこかしさが残りました。

しかし、そのあと教会関係者から派遣されたボランティアに、東京方面から駆け付けてくださる方があり、暑さの中を一緒に泥と格闘しました。教会の

交わりを改めて実感しました。

東北宣教プロジェクトへの支援も、同じように、距離の隔たりが横たわっています。それにもかかわらず、このニュースが読まれ、支援がさざざられ続けているのは、教会の交わりにも生きていくという思いが、教会の方々にあるからだと思います。当教会の執事会では「広域伝道部門」の働きの中で継続していますが、小さな支援ですが、これからもこの交わりに加わらせていただければと願っています。

(西大寺キリスト教会牧師)



教会内で掲示されている東北宣教プロジェクト

**【祈る】** 移動しての礼拝、オンラインでの礼拝が守られるように。「御霊と真理によって礼拝」することができるように(ヨハネ4:24)。続けて教会と活動の拠点として相応しい場所に主が導いてくださるように。震災10年を経過した被災地に続けて慰めが与えられ、高齢者が支えられ、福音が届けられるように。

**【送る】** 集会、訪問用のお菓子：賞味期限の長いもの、個包装のもの等少量からお受けしています。

【宛先】〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字関谷6-3 齋藤満

**【参加する】** オミクロン株のコロナに留意しつつ、3月からワクチン3回接種済みの方に限り、小規模の宣教チームの受け入れを再開しております。ぜひ祈りつつご計画ください。

**【献げる】** 2021年の東北宣教プロジェクトの働きを覚えてくださり、愛をもって忠実におささげくださいましたことを感謝いたします。前回ご報告の通り、予算は無事達成されました。2022年も昨年と同じ365万円の予算が組まれました。予算達成に向け、これまで同様のお祈りと献金をよろしくお願い申し上げます。

なお、献金の宛先にご留意ください。教団宛てに送金されるTSP献金は、齋藤師の謝儀を含めTSPの働き全体を支えるもので、グレイスハウス教会に直接お献げいただく献金(現地教会活動を支えるもの)とは異なります。そのことをお踏まえいただき、なお一層のご協力をお願いいたします。

# キャラバン伝道2022始動！

「キャラバン伝道

2022始動！」

伝道部員 篠原 哲二



キャラバン伝道案内ちらしから

久しぶりに、地を踏みしめながら宣教協力が進められています。祈り、献げ、お支えくださりありがとうございます。すでに佐賀キャラバンが恵みのうちに終了しました。残るキャラバン隊のために続けてお祈りください。そして、機会がありましたら、開拓教会と被支援教会のために、ともに奉仕できることを、お祈りしています。

(須坂聖書教会牧師)

## キャラバン日程と隊員募集人数(隊長を除く)

■山形恵みキリスト教会

吉持尽主師 9月9日(金)

11日(日) 隊員4名まで

隊長 篠原哲二師

■富士川教会

井原安祐師 9月16日(金)

18日(日) 隊員3名まで

隊長 大瀧恵理也師

■いこいのある教会

全志碩師 10月13日(木)

16日(日) 隊員5名まで

隊長 園信吾師

■鹿児島いずみ教会

瓜生和彦師 11月11日(金)

13日(日) 隊員数未定

隊長 裴東烈師、鄭南哲師

■徳島福音キリスト教会

朴哲濬師 11月18日(金)

20日(日) 隊員5名まで

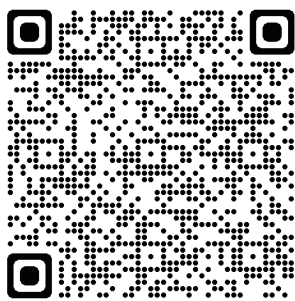
(中国四国宣教区限定)

隊長 宮地宏一師

申し込みを考えている方へ

各キャラバンが現地の状況を判断し、隊員はホテル宿泊(シングル)にし、事前にPCR検査等の感染対策をして進めます。申し込み後でも具合が悪い場合(発熱、咳等の症状)は、各隊の隊長までご連絡ください。感染拡大の場合は現地教会の判断により開催を中止する場合もあります。ご了承願います。

キャラバン隊への参加を考えている方は、左記のQRコードから申し込みフォームに入れます。各隊開始2週間前に締め切ります。

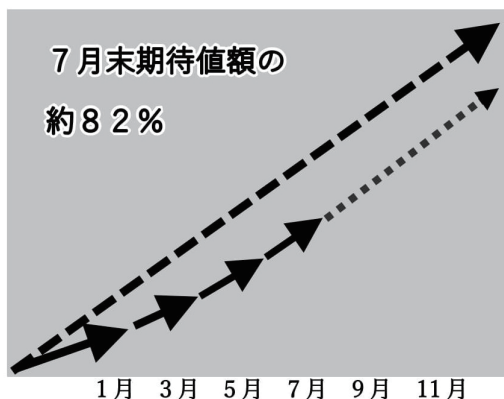


教団のホームページの国内宣教ページからも申し込みできます。

## 国内宣教の年間予算2500万円

皆さまの尊いお祈りとご支援を感謝いたします。キャラバン伝道の隊員募集が始まりました。今年は今地開催を予定し、準備しています。来春からは宣教区レベルで和歌山開拓が開始します。未設置県は秋田、島根の残り2県です。福音宣教の前進を「一人500円/月」で祈り、お支えください。

累計 1,1917,575 円 (年間予算の 47%)  
210 教会がご支援くださいました



御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。マタイ 24 章 14 節

宣教師振り返りシリーズ

## ネパール 医療宣教を振り返って

元教団派遣宣教師（医療宣教）

吉持 徹信  
よしもち げんしん



私たちがネパールに出発したのは1995年、活動を終え帰国したのは2002年の大昔。多くのことは忘れてしまいました。それで以下は「世の光」に送ったネパールからの最後の活動報告です。これで活動内容を思い出していただけると感謝です。当時私たちの活動を支えてくださった同盟基督教団の皆さんに重ねて感謝を申し上げます。

《2002年2月報告から》

ダンデルデュラでの生活で一番大変なこと、それは僕にとっでは当直かも知れない。日本の病院だと多くても週に1度くらい、しかしダンデルデュラは医師の数が少ないこともあり、少なくとも日に1度、多いと毎日になる。幸いネパールのスタッフが良く訓練されてきて、

6年前にダンデルデュラに初めて来た時よりはかなり楽になりましたが、ことに冬の寒い日、ベッドの中の暖かさから抜け外の寒さに出て行くのは、正直言つてすごく腹が立ってしまいます。ここはお風呂もないから、体が温まるのに結構時間がかかるのです。

「くそーせつかく体が温まったところなのに。」そんな文句を心の中でつぶやきながら外に出る。真っ暗闇の中、懐中電灯片手に病院へ行く。目が慣れてきてふと上を見上げると、空は満点の星空。やっぱりダンデルデュラって良いところだな。この星空を見ること後何回あるだろうか。

1995年ネパールに赴いて以来、もう7年になりました。1歳だった長女はこの4月より小学2年生、ダンデルデュラで

生まれた長男も5月で5歳になります。去年は弘子が長女の先生として頑張りましたが、今年は無理のようです。子どもの教育などを考え、ダンデルデュラでの活動をこの3月をもって打ち切ることになりました。

途上国で医療活動をするには僕にとって、小学校の頃シュバイツァーの伝記を読んで以来の夢でした。それでネパールでの7年間は僕にとって、とても充実した、そして医師としても人間としても大きく成長することのできた時でした。今活動を打ち切るとなると寂しいというのが正直な気持ちです。しかし同時にほっとしていることも確かです。ここ1年ほどネパールは政情が不安定で、ダンデルデュラでも時々銃声が聞こえます。私たちの人生の中で最大の宝とも言えるようなこの7年間

をプレゼントしてくださった神さまに、そしてその間、欠かさず私たちを祈り、支えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。僕自身を医師としてもキリスト者としても成長させてくださったネパールの主にある兄弟姉妹たち、そして患者さんとしてダンデルデュラ病院を訪れてくださった6年間で延べ約20万人にのぼるネパールの方々、僕が手術を行った700人を超える人々、僕が取り上げた100人以上の難産の赤ちゃんたち、福音を伝えることのできた多くの多くの入院患者さんたち、それが私たちの宝です。政情不安も加わりネパールの社会情勢は困難の度を増しつつあります。そんな中ネパールの人たちの心に本当の平安が与えられるよう、続けてネパールのためお祈りください。

### 宣教師近況・祈祷課題

◆金煥・朴貞玉（南アフリカ）

7月12日無事に羽田国際空港を通過して再入国しました。早速翌日から入国管理局、南アフリ





## 一時帰国の恵み ～心が通い合う交わり～

ブラジル 教団派遣宣教師 <sup>はまだ</sup> 浜田 <sup>けん</sup> 献・<sup>ようこ</sup> 陽子  
 ブラジリア・アライアンス・キリスト宣教教会

ブラジル宣教のためにいつも尊いお祈りとご支援をありがとうございます。2012年の最初の派遣から今年でちょうど10年が経ちます。コロナの影響で第二期の区切りは帰国できまらなかったが、この7月に諸手続きのため私1人で一時帰国をしました。5年半ぶりの日本でしたが、蒸し暑さもさほど気にならず、実家のある愛知で両親をはじめ、親戚や友人との再会を果たし、自分の人生の基盤がここで作られたのだと改めて確認し、感謝の思いが湧いてきました。小学校以来の友人は、私の帰国をことさらに喜び、釣りや野球観戦に連れ出してください、大いに楽しませてくれました。

地元の東海西宣教区では教師会にお招きいただき、宣教報告をさせていただく機会を得ました。奇しくも40年ほど前に母教会でお世話になった日曜学校の先生が駆けつけてくださり、何十年ぶりかでの再会に励まされ、主に心からの感謝をささげました。

長引くコロナを考慮し、今回



かつての日曜学校の先生と

は家族をブラジルに残しての帰国となりましたが、行く先々で温かく迎えられ、主にある兄弟姉妹との交わりに慰め励まされました。平面的なパソコン上のオンラインではなく、顔と顔を合わせた立体的な対面での交わりは、やはり互いの心を通わせ合うことができる最善の方法ではないかと実感しました。この7月に対面での宣教報告の機会をくださった7つの同盟諸教会の皆様が改めて感謝申し上げます。



退院された上野さんと安井牧師

なお、先日ブラジリアの病床で信仰決心に導かれた上野さんは退院され、引き続き健康の回復を祈りつつ歩まれています。92歳になる上野さんの内なる信仰が支えられ、生ける主との交わりをいよいよ喜び楽しむことができるようにお祈りください。また、開拓中のヴァルゼンポニータの一人おひとりに、主の恵みの福音が行き届き、神の家族に導かれることを祈って止みません。引き続き、皆さまの熱いとりなしとご支援をよろしくお願いいたします。

力共和国領事館などを訪問しながら手続きを始めております。家内の疲れはなお続いており、すべての手続きが順調に進み、ビザが下りるように、家内と本人の健康が守られるようにお祈りしてください。

◆長谷部愛実(タイ・チェンマイ)

9月は日本からオンラインで講師をお招きしての教会修養会を計画しています。コロナによって散らされている信徒たちが近況を分かち合い、祈り合う機会も持たれます。それぞれが主ご自身と兄弟たちとの絆を深める時とされますよう、お祈りください。

◆矢田紫野(モンゴル)

モンゴルの学校の夏休みは3ヶ月あるので、休み中遊んばかりだと9月には習ったことをすっかり忘れてしまう子もいます。少しずつでも学習センターで勉強を継続することができるよう。また長期間田舎に行く子も多い中、休み中も継続して教会学校に来れるように。

◆浜田献・陽子(ブラジル)

7月は私の一時帰国が守られ、多くの兄弟姉妹と再会し祈



## 安心して行きなさい

タイ 教団派遣宣教師

このあきらみちよ  
河野 晃・美千代

バンコク・グレース教会

国外宣教のためにお祈りとご支援をありがとうございます。この夏、私たち家族は主人の頸椎（けいつい）と腰椎のヘルニアの治療のために日本に一時帰国をしています。2017年5月のある日、主人は日本から届いた荷物を受け取りにタクシーで郵便局に向かう途中で交通事故に巻き込まれました。主人の命が守られたことを主に感謝しましたが、やはりむち打ちになり1か月ほど病院に通うことになりました。少しずつ回復していましたが、ここ2年は頸部と腰に痛みが生じ、さらに昨年末からは左手足にづらい痺れも出るようになりました。日常の生活や奉仕だけでなく睡眠にも影響が出るようになったため、再びバンコクで病院にかかり治療を受けました。しかし治療の効果はなく、医師より手術を勧められました。

タイ宣教第二期に入りこれから、という時にこのような状況になりました。担当している中高生や訪問伝道で関わっている子どもたちと親御さんたちとも良い関係が築きあげられ、また日本語クラスやスポーツミニストリーを通して働きが広がりを見せ始めていた時でもありました。本当に一時帰国がふさわしいのか、主人だけが帰国し、私と子どもたちは残って働きを続けてはどうか、などあれこれと思い巡らせ、悩み祈る日々が続きました。

そのような時に、主は日々のデイブーションを通してルツ記から「恐れる必要はありません」（3章11節）とお語りくださり、また続くサムエル記第一からは「安心して行きなさい」（1章17節）と語られました。苦難の中にあっても主を信頼し、家族であるナオミとともに歩んだルツの姿。また、痛む心を主に注ぎ出して祈ったハンナに、エリを通して語られた主のことば。それぞれから平安が与えられました。主は、今の私の置かれた状況も悩みも祈りもすでにご存じで、その愛の御手で支え導いてくださるお方でありました。

帰国後、今も主人の通院と日々のリハビリは続いています。しかし、常に緊張していた宣教地から慣れ親しんだ故郷日本の環境に身を置き、主人は身も心も緊張から解き放たれ、治療に専念することができているようです。また、私自身も久しぶりの日本での礼拝と祈りとデイブーションの生活、また信仰の先輩でもある主人の両親との交わりを通して主の深い慰めを覚える日々を過ごさせていただいています。子どもたち3人も、それぞれ地元の小学校と幼稚園に通い、日本語による勉強と日々の生活を通して日本の文化に触れ、たくさんの新しいお友だちと楽しく過ごしています。

この原稿を書いている7月中旬から再び新型コロナウイルスの感染者数が増加し、対面での交わりは難しい状況になっていますが、オンラインを通して諸教会の皆さまとも交わりをもたせていただいています。また、タイで関わっていた子どもたちや、教員、先生方とも連絡を取り合い、日本にいなながらタイの私たちの神の家族と共に祈ることができるところに主の慈しみを感じています。これからも祈りつつ、治療の中にある主人を支え、タイ



帰国した際に空港で家族と

り合うことができ感謝でした。子どもたちも冬休みを利用してサンパウロでの青年キャンプに参加し、信仰を育んでいただきました。8月から再開する日本語学校や訪問伝道、ヴァルゼンボニータでの開拓の祝福をお祈りください。

◆河野晃・美千代（タイ・バンコク）  
首と腰のヘルニアの治療を受けていますが、手術は回避することができました。続く治療とリハビリが守られますように。また、私たちが不在中のバンコク

（次頁4段目に続く）

への再出発を目指して主とともに歩んでまいります。どうかお祈りをよろしく願います。

（河野美千代）

# 韓国の教会とこれからの世界宣教について



枝川愛の教会

チヨ ヨンギル  
趙 鏞吉

世界宣教を主導してきた欧米教会の宣教力が弱まり、一方、第二、第三世界の非欧米圏の教会が成長し続けています。キリスト教の中心が欧米から非欧米へ、人種と文化と言語と国籍を超えて移動しています。このような状況の中で、非欧米教会は欧米教会が蓄積してきた経験とノウハウを学ばなければならず、一方、欧米教会はそれを共有しなければなりません。これは、全世界的教会のための歴史的な宣教の協力がさらに広がることであると言えます。その協力の上に新しい時代に適用可能な宣教のモデルを提示していくのです。福音は、特定の国家や団体、時代が独占するものではなく、中心から周辺に向かって流れなければならない力動性を持っています。したがって時代により、宣教の中心的

務めを担う役者も変わります。

韓国の教会もこのような変化とニーズを共有し、これからの宣教的な戦略を模索しています。2021年基準で韓国教会が派遣した宣教師数は22,210人でしたが、50代以上の宣教師が60%を上回り、韓国の宣教も増えないまま、高齢化に向かっていることが分かります。韓国の教会は、比較的早い時期から非欧米教会として世界宣教に赴き、多くの経験と試行錯誤を重ねてきたと思います。これから韓国の教会は、その間の省察とともに、欧米教会の宣教的な力量と協力しつつ、これからの宣教に最適化した宣教モデルを提示し、さらにそのための支援をしなければならない時代的な使命を担っています。(枝川愛の教会 牧師)

## 国外宣教献金報告 (2022年7月末現在)

### 宣教師指定献金

↓期待値 58.3%

5,172,823 円 (50.7%) 予算 10,200,000 円

↓期待値 58.3%

19,783,378 円 (57.8%) 予算 34,250,100 円\*

\*収入予算 (35,671,300 円) から積立て金取り崩し分を除いたもの。

### 国外宣教デー献金

1,433,372 円 (71.7%) 予算 2,000,000 円

ク・グレース教会の伝道の働きも守られますようにお祈りをお願いいたします。  
 ◆林武志・趙伶儂(東南アジア) 父の家教会は10月に教会キャンプを計画しています。昨年はオンラインで行い、大人と子どもを合わせ約140名が参加しました。今年度はコロナウイルス対策が大幅に緩和されたこともあり、対面式で行う予定です。多くの教会員が参加し、みことばに養われる時となりますようにお祈りください。

## ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い（第2回）の報告

### 「教会と国家」委員会

「教会と国家」委員会委員 柴田智悦しばた ちえつ

7月1日に引き続き、7月22日、「教会と国家」委員会セミナーの第2回目、「ウクライナから見る宗教事情」がオンラインで開催されました。参加者は59名でした。

まず、根底にある東方教会（正教会）についてですが、一般的には1054年に東西教会が分裂（相互破門）したと言われているものの、その歴史は、395年にローマ帝国が東西に分割されたときに遡ります。そうしますと、東方教会も西方教会とさほど変わらない歴史を持つているわけですが、私たちプロテスタント教会も西方教会から出ているためか、日頃、東方教会について学ぶことが少ないように思います。東方教会は18の自立教会を持っています。信徒数約2億人のうち、約半数の9千万人を抱えるロシア正教会が最大です。そして、東方教会は主に、ロシア共産圏に収まっていたのですが、ソビエト連邦の崩壊により人々は自由（信教の自由も含め）を求めて西側を向くようになりました。ウクライナもまた然りで、ロシ

ア、カザフスタンに次ぐ大国で、世界の穀倉地帯と呼ばれるほどの国が西側に取り込まれることは、ロシアにとって現実的な危機であったのです。

また、東方正教会は基本伝統を重んじ、形から入る儀式そのものが意味を持つため、聖書のみ、キリストのみ、恵みのみ、という信仰になりにくく、礼拝儀式をメッセージとみなすところがあるので聖書そのものから学ぶことも少ないようです。その結果、何の抵抗もなく異端を受け入れてしまう傾向にあり、モルモン教、エホバの証人、旧統一協会などがどんどん入り込んでいそうです。



ウクライナ語版「ヨハネの福音書」分冊

私たちは国外宣教と言いますと、まず、未伝地への伝道を思い浮かべます。そして、東欧諸国に対しては、東方教会もキリスト教であり、信仰としてはさほど変わらないのではないかと考え、あまり目を向けてきませんでした。しかし、ポーランドを拠点とするインターナショナル・バイブル・ティーチング・ミニストリーが、ヨハネの福音書のウクライナ語訳聖書を支援物資と共に勢力的に配布しているように、今ほど東欧諸国に福音が必要とされている時はないのです。70年以上「神がいらない」国々があった事実を目を向ける



石川秀和牧師（左側） 柴田智悦牧師（右側）

べきです。しかし、東方教会の中にも、聖書から真理に目覚める人も現れています。難民支援と同時に福音宣教も急務であることを教えられました。「機会を十分に活かさない。悪い時代だからです。」（エペソ5章16節）

（横浜上野町教会牧師）

—録画もありますので、ぜひ、ご視聴下さい—

- 「ウクライナ情勢の背景を学ぶ集い」（全2回）
- 第1回「ウクライナの政治事情」 [https://youtu.be/\\_wWLFtb9HQ](https://youtu.be/_wWLFtb9HQ)
- 第2回「ウクライナから見る宗教事情」 <https://youtu.be/dwxv5QYNof0>
- 石川先生が関わる「ウクライナ難民を支援する会」のホームページ <https://www.aid4ukraine2022.com/>

# あつまれDS とも キャン

**9/23(金・休) - 24(土)**

## 松原湖バイブルキャンプ

キャンプを通してたくさんの「友」を作りましょう。そして「友」と「共」に主から励ましを受けて、新しい一歩を踏み出しましょう! 講師の山本陽一郎先生のメッセージと、オンラインでは味わえない対面キャンプならではの楽しい企画をたくさん用意してお待ちしています!

参加費

標準: 7,000円 | レイクサイドシオン: 8,000円  
(登録費3,000円を含む)

※ 部分参加の費用についてはお問い合わせください。  
※ **「早割」特典あり!** 8月22日(月)までに申込みを完了した方には、1,000円のキャッシュバックがあります。ぜひ早めのお申込みを!! 車の複数乗り合わせ(3名以上)対象に**「相乗り割」**(上限1万円の交通費補助)があります。

参加対象

18~39歳の独身同盟青年

申し込み方法

① 下記申込みフォームに必要な事項を記入し送信  
<https://bit.ly/tomocamp> スマホはQRから

② 申込み者宛に送られるメールを見て、参加費を振り込む

申込み締切: 2022年9月8日(木) 定員70名

※ ②まで完了しないと申込みとはなりません。キャンセルの際、登録費は返金されません。その他キャンセルポリシーについてはお申込み後メールにてご連絡いたします。

【講師紹介】 山本陽一郎

- ・多治見中央キリスト教会牧師
- ・ラジオ番組「世の光」でバイブルメッセージを担当
- ・日本同盟基督教団教団理事・青少年局長

主催: 日本同盟基督教団 青年部 | お問い合わせ: 小川真(国立キリスト教会牧師) ✉ [m.bach.ogawa@gmail.com](mailto:m.bach.ogawa@gmail.com)

## 子ども会用カリキュラム 『フランソン先生のバイブルストーリー』HPにて発刊!

月1回子ども会をひらいてみませんか?

- ★ はじめて聖書にふれるおともだちにお話できる10回分のカリキュラム(イースターとクリスマス除く)。順不同で子どもたちの状況にあわせて選んで使える。
- ★ 小学生のあいちゃんとのふくん、フランソン先生の台本形式。フランソン先生がバイブルストーリーを語ってくれる。
- ★ 台本に合わせたパワーポイントの教材付き。映像を映しながら、紙芝居風に。印刷して使用もできる。
- ★ スタッフ一人がすべて読む、あいちゃんとのふくんのことはほかのスタッフや子どもたちが読むのもいい。

子ども会で何を話していいかわからない! 準備の時間がない! といったハードルを越え、子ども会を開催しましょう。

ホームページは同盟教会教育部で検索!

教会教育部: <https://www.edu-domei.net/教会教育部/子ども会用カリキュラム>

## クリスチャンホームビジョン 教職者セミナー報告

ひろおかたくろう  
家庭教育部員 廣岡拓朗

### 家庭教育部

7月12日(火)クリスチャンホームビジョン教職者セミナーが開催されました。講師にクリスチャン結婚支援ミニストリー「リベカ」代表の中西じゅん子氏をお招きし、『クリスチャンの結婚 現状と対策』結婚支援の現場から』という題で講演をしていただきました。リベカを始めたきっかけ、独身者に行なっているアドバイス、教職者に知ってほしいこと、などお話をいただきましたが、ご経験に裏打ちされた、実践的かつ説得力のある内容でした。また結婚は当人はもとより教会の祝福・成長にも大きく関わることを改めて覚えさせられました。牧会を見つめ直す良い機会になりました。質疑応答やグループタイムによってもさらに教えられ、深められ、とても有意義な学びの時となりました。

尚、教職者対象ではありませんが、今回の講演はYouTube(限定公開)でご覧いただけることになりました。ご希望の方は家庭教育部のホームページ(これまで開催したセミナー

報告)にアクセスし詳細をご確認ください。(<https://www.edu-domei.net> 家庭教育部)これまで開催したセミナー報告(白山めぐみキリスト教会牧師)



#### ◆参加者の声 小野喜代美(愛のキリスト教会)

結婚の祝福を定められた、主の御名を心からほめたたえます。

講演を通して、クリスチャンがクリスチャンとの結婚を願っても、現状は厳しく、悩んでおられる方が多いという事を改めて知りました。クリスチャン人口が1%に満たない日本のキリ

スト教会の実情を、これまでも多くの方が、様々なかたちで味わって来たことと思います。

私も振り返ると、10代の頃、同級生のクリスチャンに会えることが少なく、キャンプや様々な集会で出会う時、とても嬉しかったことを思い出します。結婚はもとより、クリスチャンとしての悩み、信仰や祝福を分かち合う同世代の交わりは、とても貴重であり、その必要性を改めて覚えます。

中西さんは、主に祈り、このミニストリーを始め、5年間で158名の方が結婚に導かれたということでした。結婚を支援するに当たって大切な事としては「結婚の選択と決断の責任は、自分自身にある」という事の確認や、共に祈り、励ますコーチのような存在となる事、支援する側の責任と犠牲の必要性等を教えられました。

今回のセミナーを通して、改めて、子供、青年、そして結婚を祈っておられる方々を覚え、心からお祈りして参りたいと思わされています。

#### ◆参加者の声 中尾芳也(東岡山キリスト教会)

7月12日家庭教育部主催のオンラインセミナーで、クリスチャン結婚支援ミニストリー「リベカ」のお話を代表者である中西じゅん子さんからお聞きしました。彼女は礼拝出席30名の小さな教会の牧師夫人で、自分の教会にいた独身女性2名のためにこの働きを始めました。

5年前に始めて、今では150名以上の人が結婚に導かれています。結婚したいという強い意志と良い信仰があれば、どんな人でもあきらめてはいけない、可能性があると力強く語ってくださいました。私たちが所属している日本同盟基督教団は、福音派最大のグループであり、青年は800人ほどいますが、結婚は大きな課題となっています。

リベカの特徴は、有料ですが、きめ細かな支援があるということです。個人的な面談のあと、お見合いの時には必ず、スタッ

教会支援部

中津聖書教会 感謝報告

星沢数也

いつもお祈りと御支援に感謝いたします。

中津聖書教会は、マイク・グレイ宣教師、カックス宣教師による西日本宣教プランのもと、1991年7月英会話クラスから開拓が始まり、同年11月には現教会堂の献堂式がなされ、その後何人もの宣教師、そして献身的な信徒の方々によって、開拓道の働きが続けられて来ました。

何名もの受洗者、又、転入会者も起こされ、教員数も増えて来ました。転居される方もおられたようです。

開拓開始から11年目の2002年4月、上村牧子先生が遣わされ、同盟基督教団の教

会としての歩みが始まり、同時に教会支援費を受給することになりました。当時はTEAMより借り入れていた会堂返済金もあり、厳しい財政状況でしたので、教会支援費受給は教会にとって、どんなに励ましとなったことかと思わされます。

2004年4月より、上村先生の後任として、糸野和俊先生ご夫妻が遣わされ、糸野先生ご夫妻の誠実な牧会伝道によって、教会形成はさらに進み、子どもたちを含め多くの方々に福音が伝えられ続けて来ました。そうした中で、2010年7月会堂返済が完了し、2014年度をもって教会支援費も終了のはこびとなりました。

けれど、2020年4月私たち夫婦が遣わされて来たことにより、再び教会支援費を受けることとなり、もう若くはない私にとつて申し訳なさ、葛藤もありましたが、高齢化が進み、小さな群れであったとしても、心



教会堂外観

からの熱い礼拝をささげ続けることによって、教会支援費受給の恵みに応えて行きたいと思わされています。心から感謝しつつ。

(中津聖書教会牧師)



14頁4段目から続く

フが入り、アドバイスをもらえます。このような働きが全国のキリスト教会に広がればいいなと思われました。岡山という地方で牧会をしている私にとつて、希望が持てる話で、とても励まされました。



救いの証し



キリストに出会って

豊橋ホサナキリスト教会員

小川有三  
おがわゆうぞう

20代の頃、2年間イギリス駐在員として勤務しました。専門の英語を生かし、大好きな音楽業界で、憧れのミュージシャンと会って仕事をすると、という望み通りの仕事につき、私は人生を謳歌(おうか)していました。私が出向した会社の社長は第一次世界大戦後、東欧から迫害を逃れイギリスに移住したユダヤ人で、経営者でありながら、仕事以上に安息日を重んじ、一緒に遠くまで出張に出ている

も、礼拝のために所属するシナゴグに帰っていました。私は内心、自分の会社より大切なものなどあるのかといぶかったものでした。

一方の私は社命を第一とするいわゆる企業戦士でした。しかし、次第に人生の優先順位について考えるようになり、そもそも「仕事が一番」という生き方のほうが実はおかしいのでは?と思うようになりました。

帰国後、自らの生き方への自問は続き、クリスチャンの姉の勧めもあり、キリスト教会を訪れ、聖書の神、キリストの十字架と復活の意味、自らの罪を知り、帰国2年後に婚約者と共に受洗、キリストを第一とする生き方を始めました。ほぼ同時に辞職、厳しくとも自営すべしと決心し、英語塾を始めました。

以降30有余年、受講生が途切れることなく、経済的にも守られ、家族で主日を重んじつつ、3人の子どもたちも洗礼を授かり、今日まで信仰生活を守ることができました。これらのこと

は決して簡単なことではありませんでしたが、ただただ主の恵みによるものと感謝に耐えません。

キリストへの信仰がなければ、私の人生は全く違ったものになっていたでしょう。このよくな悔いのない人生を送ることは決してできなかったでしょう。

「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」(ローマ10章11節)とのみことばは、「まさにそのとおりアーメン」であります。



コラム「信・望・愛」原稿募集

牧会の現場で経験した「信仰・希望・愛」に満ちた教職者からのお証しを募集しています。

原稿の文字数は600～700字です。写真を掲載することもできます。

詳細は総合出版部の榊原康成に問い合わせください。

シティリジョイスチャーチ (cityrejoice-ch@kcf.biglobe.ne.jp)





# 教団ニュース

## 《記念日》

◇教団創立記念日・献身者デー  
10月2日(日)

## 《行事》

◇伝道懇談会 10月3日(月)～4日(火) つま恋リゾート彩の郷

◇秋の研修会 10月4日(火)～5日(水) つま恋リゾート彩の郷

## 《会議》

◇理事会 9月5日(月) 教団事務所

10月3日(月) つま恋リゾート彩の郷

《2022年度補教師試験 答案の受付について》

同答案を9月26日(月)(当日消印有効)まで、教団事務所(教団理事長宛)で受け付けていま

す。必ず配達記録の残る方法(書留等)を利用してご提出ください。

詳細については、教団ホームページの「教師試験関連文書」より「公示2022年度教師試験」を参照ください。

## 《訃報》

謹んでお知らせいたします。

◇島村真理師(関東宣教区・新狭山福音教会)のお父様、山本三郎様は7月12日に召されました。89才でした。

◇表東烈師(九州宣教区・光の森聖書教会)のお父様、表春炳(ペーチュンビョン)様は7月18日に召されました。85才でした。

◇青木比郎師(千葉宣教区・市原平安教会)は8月3日に召されました。73才でした。



10月23日(日)までに  
申し込んでもらえると  
決心カード  
送るよ!

集会の登録は  
できるだけ  
教会ごとに!  
個人登録でもOK



## あつまれ!ディーキッズ!

# D-kids



<お話の先生>

たかはし わたる  
**高橋 渉 先生**  
(登別中央福音教会牧師)

日にち: 11月3日(木)

時間: 10:30-11:30

会場: Zoom

(申し込み QR コード→)

申し込み: <https://forms.gle/5oJJo5MyjRuGeJg37>

(FAXでの申し込み: 047-492-3443 白井聖書教会)

問い合わせ: [n.doumeikids@gmail.com](mailto:n.doumeikids@gmail.com)

主催: 日本同盟基督教団 教会教育部 D-kids2022



## 献身の証し



先立って進まれる神

吉村俊輔  
よしむらじゆんすけ

2012年にウイーン日本語キリスト教会で受洗して以来、献身のために召してくださる神の語りかけを待っていました。その後、日本に移住し、結婚し、新しい職場につき、その数か月後に「主ご自身があなたに先立って進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おのいてはならない。」(申命記31章8節)と神さまが私に語りかけてくださったのです。その時、神の国の働きに献身する時が来たことを確信しました。

このみことばを握りしめて東海聖書神学塾に入塾し、卒業後に日本同盟基督教団の補教師として仕え、正教師として任命されました。この学びと奉仕の7

年間の道のりを振り返ってみると、私自身の足跡が偉大な神さまの足跡に隠されています。この7年間は家族と自身の信仰が整えられた試練の時期でした。しかし、言語の壁や経済的な難しさや直面した時、人間関係に関する助けが必要となった時には、神さまは約束してくださった通り、いつも私たちに先立って進んでくださり、導きを与えてくださいました。いつも共におられ、全ての必要を満たし、全ての欠けを補ってくださいました。不足や弱さを感じ、不安になる時もありましたが、最終的には主の恵みはいつも十分であることが繰り返し教えられました。神さまの時を待ちきれず、先走りしたい、と思った時もありましたが結局は神さまがなさることは、すべて時にかなって美しいことを知りました。

過去にあった生ける主のみわざを自分の召しの錨とし、これからもただ先立って進んでくださる主の足跡を追っていきたい、と願っています。

(近江聖書教会牧師)

「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を私たちに教えてくださる。

私たちはその道筋を進もう。」

イザヤ書2章3節

# 浜名湖聖会

## 10月10日(祝・月)

聖会① 10:30-12:00

聖会② 13:00-15:00



中尾信一先生

愛 浜名湖バイブルキャンプ  
されつづけて

50 since 1972  
YEARS  
ANNIVERSARY



ゴイちゃん  
なおこ  
せんせい

こともせいがい



うれしい

たのしい

ゲームやさんびもあるよ



キャンプレジェンドたちによる  
HBC 想い出の今昔ものがたりがあります。



子ども聖会は並行して行われます  
AM10:00 より YouTube 配信いたします。

昼食希望者：10/2(円)までに申込みください。大人 800円 小中 500円 3歳～300円

申込み問合せ 蓮井康人 090-8556-0143 loveiwata@gmail.com

主催：浜名湖バイブルキャンプ 静岡県湖西市太田 423 053-578-0081





入国管理局についての学び会



広福音キリスト教会 交わり(お誕生会)

(20Pから)

以上のように、これまでも教団の各教会における外国の方への取り組みが行われてきましたが、国外宣教委員会としてはそれらの取り組みを祈りに覚えるにとどまっていた。しかしこれからは具体的な取り組みが必要であると考え、国外宣教委員会として以下のような小さな取り組みを一昨年あたりから始めました。

1) 同盟基督教団の教会の、在留外国人の方に重荷のある方たちの集いを数か月に1回開催(オンライン)

2) 同盟基督教団の教会に集う外国籍の方々との日本語で聖書を読む会を毎月1回開催(オンライン)

3) 同盟基督教団機関紙における発信(各教会の取り組み紹介等) 随時

これらの働きは、現時点では、情報交換と交わりと祈りが中心となっています。ですが、これらの活動を通して、今後、各教会に与えられている国を越えた神の家族の交わりが

深まることを願います。その交わりが互いの国のための祈り、宣教へとつながっていくことを願っています。いつか同盟基督教団の教会に集う外国籍の方々の中から、母国へ宣教師として戻っていく方々を、主が起こして下さるかもしれません。さらに日本に住む彼らが母国語の教会を開拓していくときに、私たちもそこに

参与することで世界宣教を推し進めていくことができるかもしれません。このようにして宣教のパートナーになることを期待しています。私たちと共に日本で生きる彼らは、日本のためにも祈ってくださっています。彼ら彼女たちの祈りは主が与えてくださった祈りです。

あらゆる国、民族の方々と共に、主の宣教のわざに祈りつつ前進したいと思います。



青葉キリスト教会 愛餐会

「その後、私は見た。すると見よ。すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。」ヨハネの黙示録7章9節

※8月号地の塩(19p)の左側、中段の最後の1行が切れてしまいました。お詫びして訂正いたします。

誤「～に導かれて投」 正「～に導かれて投錨しました。」

在留外国人の方たちへの  
取り組み

# 地の塩

日本同盟基督教団

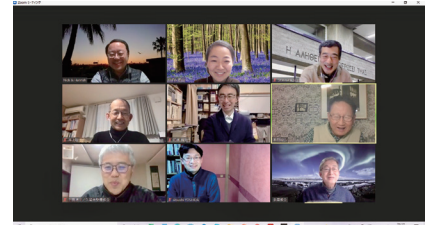
## 在留外国人の方たちへの 取り組み



Zoomによる日本語の聖書の学び



フィリピンのお料理  
(青葉キリスト教会)



教団内教会在留外国人の会の時の様子



広福音キリスト教会礼拝前  
(フィリピンのアウリンさんのご家族=右後ろ)

## 在留外国人の方たちへの取り組み

執筆者 **飯田 晶子** (国外宣教委員会 主事)  
**原山 いずみ** (国外宣教委員会 委員)

「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。」

マタイの福音書24章14節

世界宣教を考える時、民族を越えた外国人への伝道のためには、国外へ出ていく、というのがこれまでの国外宣教の在り方としておもにあったと思います。けれども近年は日本に在住されている外国人が多くいらっしゃり、その外国籍の方々が諸教会に集っています。

世の光2020年6月号で広福音キリスト教会とミャンマーの方々の取り組みを紹介いたしました。ミャンマーでのキリスト教徒への迫害を逃れて広島県呉市に定住することになったクリスチャン家族が教会の中で愛を受けています。

また、青葉キリスト教会の取り組みを世の光2021年2月号で紹介しました。青葉キリスト教会はフィリピン

の方々が礼拝する場所を探していた時に教会と関係する施設を紹介し関係が深まりました。その後、第5週の主日礼拝を合同でささげるようになり、主にある交わりが確かになっています。

その他に私共が聞き及んでいるところでは、いずみ教会にコンゴやカメルーンの方や他国の方が来ていらっしゃることも、また中国人の方を受け入れている教会が諸処あること、ブラジル人を受け入れている教会があること、ベトナム人との関わりがある信徒の方のこと、などなどです。

さらに国外宣教委員会委員の一人が所属している土浦めぐみ教会には、多くの外国の方が来ていらっしゃいます。韓国、中国、台湾、タイ、ラオス、インドネシア、ブラジル、ケニア、インド、スリランカ、アメリカ、ドイツなどです。「グローバルな(国際的、全人类的)教会」の理念を持ち、外国の方々と共に礼拝(同時通訳有)することや様々な集会を備えて受け入れ宣教をしています(詳しくはまたの機会にご紹介します)。この他にも書ききれないほど、外国の方たちとのつながりが諸教会に与えられていることは誠に喜ばしい、主に感謝すべきことです。(19Pへ)